

Japan-Expertプログラム(ヘルスケアコース)入学後の学生における標準履修モデル

令和3年8月31日

入学 ⇒

	1年		2年		3年		4年		単位	
	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期		
基礎科目	Japan-Expertフレッ シュマンセミナー(1) 日本語(15)		総合科目(学問への誘い含む)(3)							19
			体育実技(柔道 1、弓道 1)							2
			英語 (4)							4
			情報リテラシー(講義・演習) (2)、データサイエンス (2)							4
			看護学類以外の開設科目(9以上) 第2外国語、化学概論、物理学概論、生物学序説、心理学類、障害科学類、体育専門学群、人文学類及び比較文化学類開設科目のうち「哲学、倫理学、宗教学」分野に対応する科目、 哲学通論							9
			Japan-Expert共通科目(他コースの共通科目より選択) (1)							1
専門基礎			人体機能学 (2)、人体構造学 (2)、医学史 (1)、医療 生命科学とテクノロジー (1)、生涯発達と家族支援 (2)、日本国憲法 (2)	人間関係論 (1)、心の健康と相談活動 (1)、行動科 学 (1)、コミュニティ・エンバウメント論 (1)、人体の代 謝と栄養 (1)、臨床薬理学 (1)、遺伝と健康 (1)、微 生物学 (2)、保健統計学 (2)、疫学 (2)、障害理解 (1)	看護専門英語 (2)、保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ (2)、 国際保健学 (1)、医療経済学 (1)、環境保健 (1)				31	
			Japan-Expert総論 (1) 看護学類以外の開設科目 (選択 10) 知識情報概論、知識情報システム概説、社会福祉経営論、文化・開発論、国際学、社会保障論、 情報社会と法制度、コンピュータシステムとネットワーク、等							11
専門科目			基礎看護学概論 (1)、看護生命倫理(1)、公衆衛 生看護学概論 (2)、高齢者看護学概論 (1)、精神 看護学概論 (1)	基本看護技術 (1)、基本看護技術演習 (3)、フィジカ ルアセスメント (2)、看護方法論 (1)、職域における 保健活動 (1)、臨床看護学概論(1)、疾病の成り立 ちと回復促進 (2)、精神看護方法論 (2)、ウィメンズ ヘルス看護学概論 (1)、小児・発達看護学概論 (1)、 子どもの健康と障害 (1)、国際看護学 (1)	臨床看護方法論 (2)、高齢者看護方法論 (2)、母性 看護方法論 (2)、小児・発達看護方法論 (1)、在宅 看護概論 (1)、在宅看護方法論 (1)、ヘルスプロ モーションと看護 (1)、家族病理とメンタルヘルス (1)、看護マネジメント (1)、災害看護学 (1)、研究方 法概論 (2)	看護学探求概説(2) 国際ヘルスケア演習(卒 業研究)(6)			46	
			国際ヘルスケア概論 (1)		ヘルスケア実習Ⅰ(介護施設) (4) ヘルスケア実習Ⅱ(医療施設) (4)					9
単位数	16	35程度	40程度	22	16	136				

⇒ 卒業 ⇒

就職先

ヘルスケア分野の政策・管理
者および研究者等
さらには健康
管理
企業
の
開
発
技
術
者
等
で
活
躍
、
教
育
者
、

自主学習 初年次教育の日本語学習に加え、卒業時まで「CEGLOC日本語教育プログラム」の履修が可能
⇒就業力のある日本語能力の獲得のため4年間継続して学習

- ・日本語を徹底的に履修(4年間通した日本語学修【CEGLOCの日本語教育】が可能)
- ・Japan-Expert総論(共通専門基礎科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・各プログラムからの推奨科目を集めたJapan-Expert共通科目(基礎科目・関連科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・国際ヘルスケア概論、国際ヘルスケア演習を新設